

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 成人特発性血小板減少性紫斑病への初回治療として用いたデキサメタゾンとプレドニゾロンの後方視的検討

[当院研究責任者] 部署名 血液・腫瘍内科 氏名 梶口 智弘

[研究の背景] 成人特発性血小板減少性紫斑病の初回標準治療はステロイド療法であり、その中でプレドニゾロンを用いることが多数でした。最近になって、ステロイドの中でもデキサメタゾンを用いた治療がプレドニゾンによる治療と比較して有効性で劣らず、また副作用はより少ない可能性があるという複数の報告が認められました。そして当院でもデキサメタゾンによる初回治療を行うことが増えてきました。

[研究の目的] 当院において、デキサメタゾン及びプレドニゾロンで初回治療を行った成人特発性血小板減少性紫斑病の患者さんの臨床データ（年齢、性別、検査所見等）を用いて、デキサメタゾンによる治療の有効性や安全性を検討します。この研究を通して、将来の成人特発性血小板減少性紫斑病の治療成績の向上につなげることが最終目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2010年6月から2020年10月の間に当院でデキサメタゾン及びプレドニゾロンを用いて初回治療を行った成人特発性血小板減少性紫斑病の患者さん

●研究期間：（医の倫理委員会承認日） から 2021年9月25日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報のみを用いて研究を行います。

カルテ情報：診断名、年齢・性別、身体所見、検査結果（血液検査、骨髄検査）、治療内容

●利用する検体、カルテ情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

臨床情報の集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、研究成果を学会や学術雑誌で発表する際には個人を判別できるような情報は消去し、対象者の個人情報を厳重に保護しています。

情報は当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが以下までご連絡ください。

公立陶生病院

所属部署 血液・腫瘍内科 氏名 梶口 智弘

---

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139